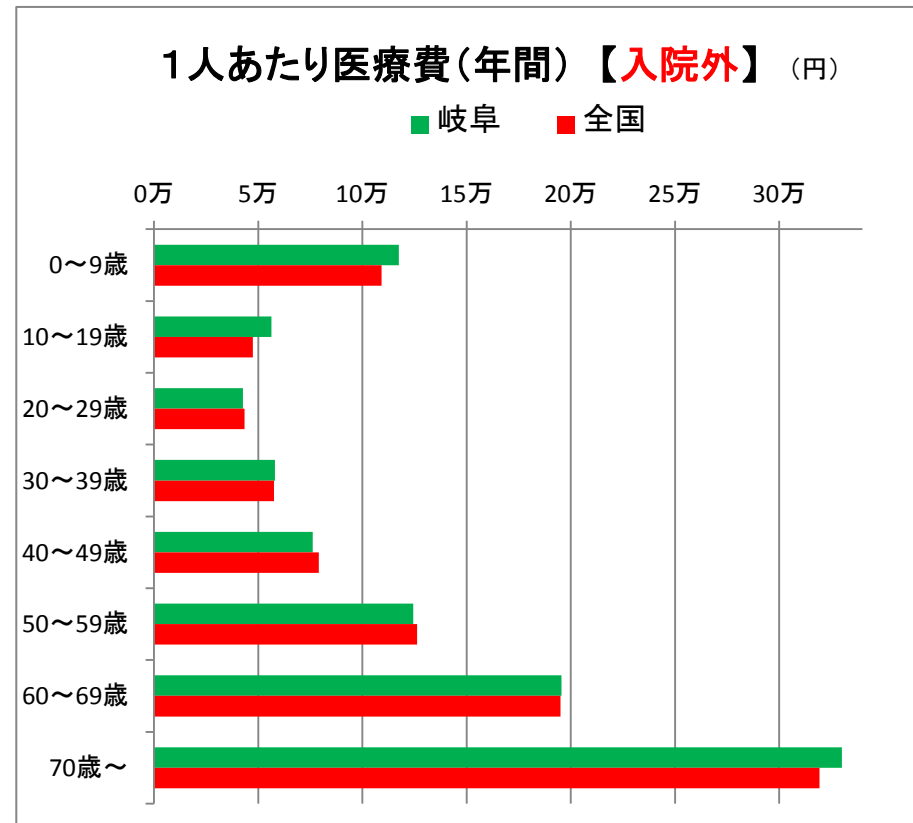
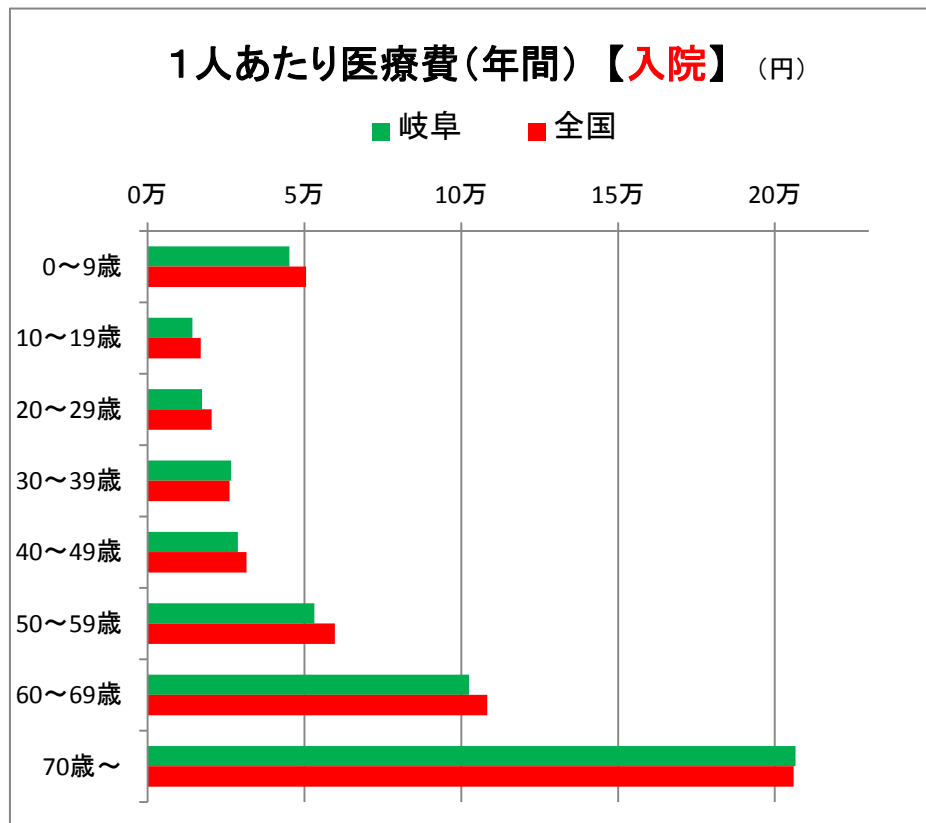


Ⅱ. 分 析

年齢階級別、傷病別、医療提供体制の観点から、医療費を分析します。

1. 年齢階級別・1人あたり医療費 ～医療費の高い年齢層はあるか～

○平成23年度の1人あたり医療費を「年齢階級別(10歳刻み)」にみていきます。



データ:協会けんぽ・統計システムより算定ベースで集計

○岐阜支部・全国ともほぼ同じような傾向を示しています。入院・入院外ともに「10～19歳」で低下し、「20～29歳」から緩やかに上昇し、「50～59歳」から急上昇します。

○「60～69歳」では、入院では10万円を超え、入院外では約20万円に達しています。

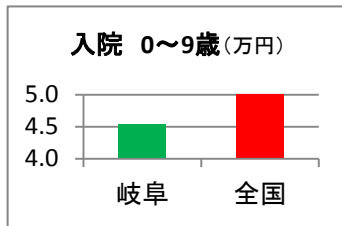
○「70歳～」では、さらに伸びが顕著となり、入院では20万円を超え、入院外では30万円を超える額に達しています。

○続いて、年齢階級別に岐阜支部の全国でのポジションを確認します。

◎入院

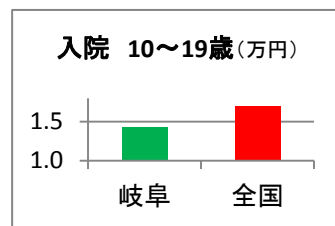
0
～
9
歳

		(円)	
		支部	医療費
1	北海道		60,845
2	島根		58,717
3	福岡		57,959
37	岐阜		45,263
全国			50,471



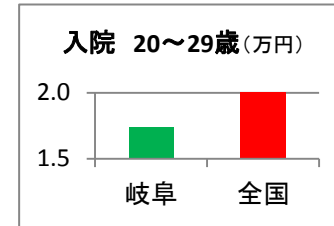
10
～
19
歳

		(円)	
		支部	医療費
1	香川		20,533
2	鳥取		19,804
3	島根		19,759
46	岐阜		14,287
全国			16,915



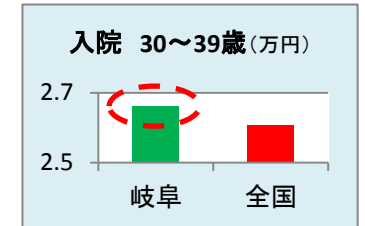
20
～
29
歳

		(円)	
		支部	医療費
1	佐賀		27,285
2	宮崎		27,254
3	熊本		27,055
44	岐阜		17,384
全国			20,416



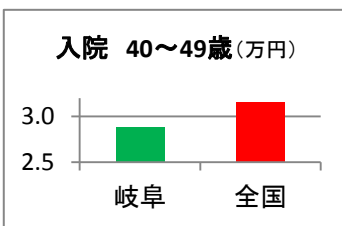
30
～
39
歳

		(円)	
		支部	医療費
1	佐賀		34,844
2	沖縄		32,775
3	高知		31,711
27	岐阜		26,618
全国			26,077



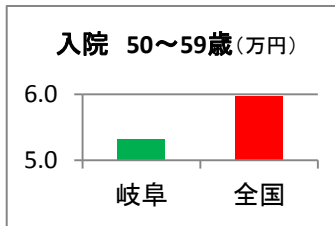
40
～
49
歳

		(円)	
		支部	医療費
1	佐賀		39,926
2	北海道		39,630
3	長崎		39,618
39	岐阜		28,800
全国			31,572



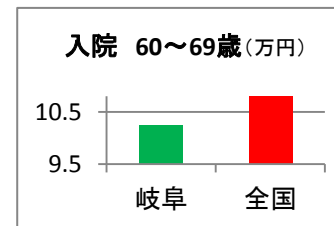
50
～
59
歳

		(円)	
		支部	医療費
1	佐賀		75,792
2	北海道		73,612
3	大分		70,930
40	岐阜		53,137
全国			59,750



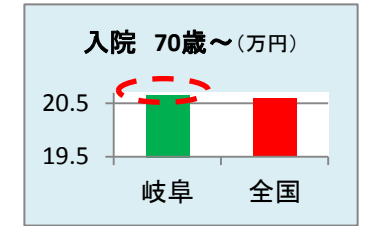
60
～
69
歳

		(円)	
		支部	医療費
1	佐賀		133,204
2	北海道		132,856
3	石川		131,938
31	岐阜		102,425
全国			108,322



70
歳
～

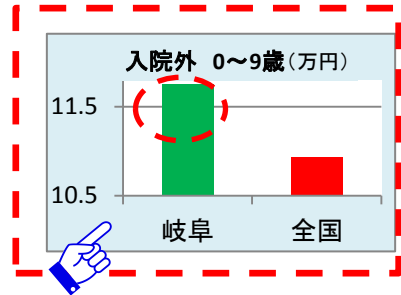
		(円)	
		支部	医療費
1	佐賀		256,162
2	福井		251,692
3	香川		250,143
27	岐阜		206,558
全国			205,973



◎入院外

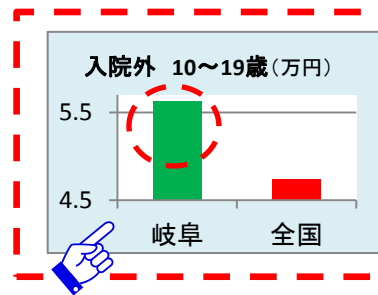
0
～
9
歳

		(円)	
	支部	医療費	
1	徳島	127,167	
2	福岡	122,096	
3	岡山	120,576	
9	岐阜	117,521	
	全国	109,235	



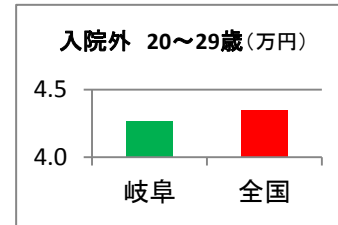
10
～
19
歳

		(円)	
	支部	医療費	
1	岐阜	56,337	全国ワースト1
2	愛知	54,852	
3	岡山	54,679	
	全国	47,396	



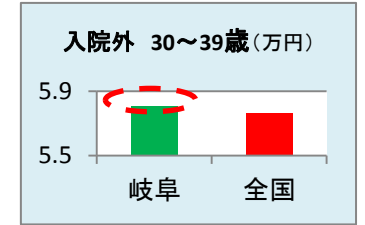
20
～
29
歳

		(円)	
	支部	医療費	
1	北海道	46,423	
2	山口	46,109	
3	秋田	46,069	
34	岐阜	42,695	
	全国	43,473	



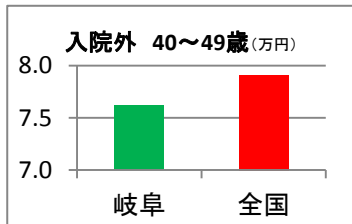
30
～
39
歳

		(円)	
	支部	医療費	
1	徳島	61,971	
2	山口	61,731	
3	北海道	61,357	
19	岐阜	58,060	
	全国	57,610	



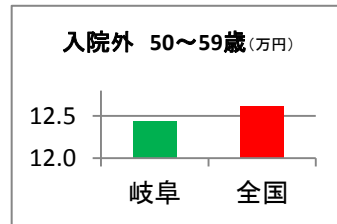
40
～
49
歳

		(円)	
	支部	医療費	
1	香川	83,926	
2	神奈川	83,082	
3	三重	82,120	
35	岐阜	76,184	
	全国	79,117	



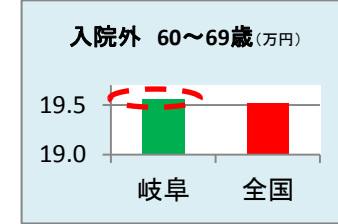
50
～
59
歳

		(円)	
	支部	医療費	
1	広島	131,842	
2	宮城	131,538	
3	北海道	131,404	
30	岐阜	124,344	
	全国	126,228	



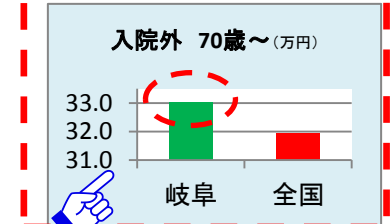
60
～
69
歳

		(円)	
	支部	医療費	
1	佐賀	211,793	
2	広島	207,906	
3	和歌山	205,878	
28	岐阜	195,576	
	全国	195,146	



70
歳
～

		(円)	
	支部	医療費	
1	広島	354,468	
2	長崎	353,273	
3	和歌山	348,176	
11	岐阜	330,131	
	全国	319,344	



データ:協会けんぽ・統計システムより算定ベースで集計

○岐阜支部で、全国平均を大きく上回ったのは、入院外の「0～9歳」、「10～19歳」、「70歳～」の3つ年齢階級でした。

○入院外の「10～19歳」は全国ワースト1でしたが、そのすぐ上の「20～29歳」は全国平均を下回っており、同じ若年層の中でも大きな差が出ています。

○全国平均を大きく上回った3つの年齢階級について、1人あたり医療費を3要素(受診率・1件あたり日数・1日あたり医療費)に分解します。

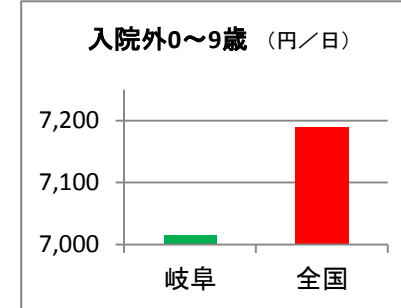
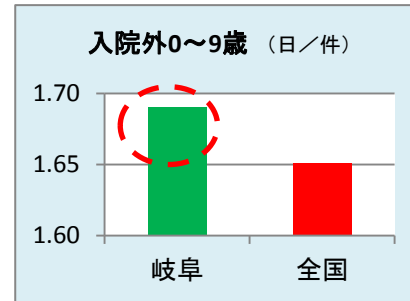
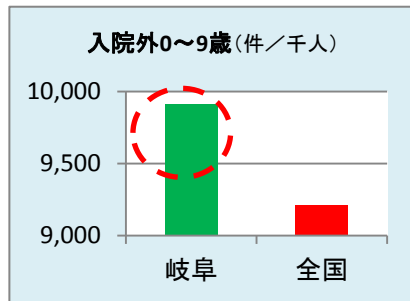
受診率

1件あたり日数

1日あたり医療費

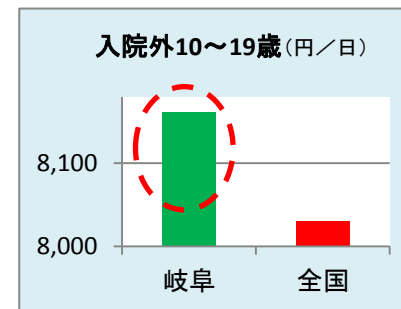
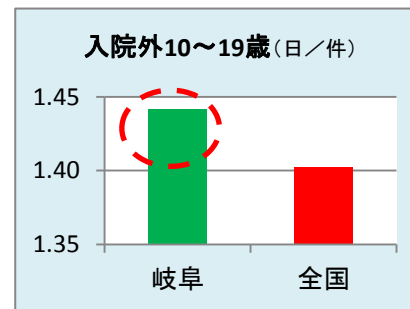
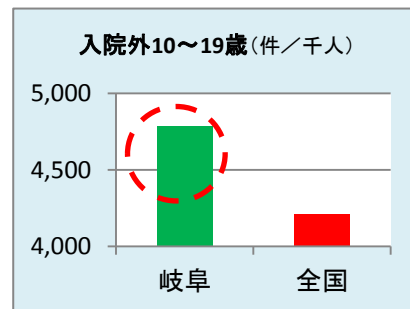
入院外

0歳～9歳



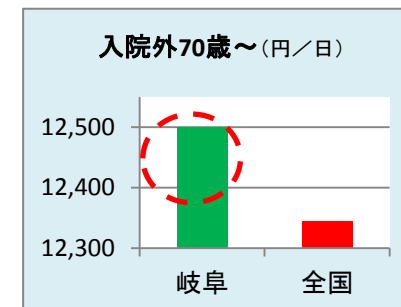
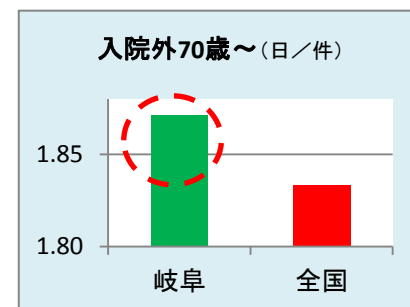
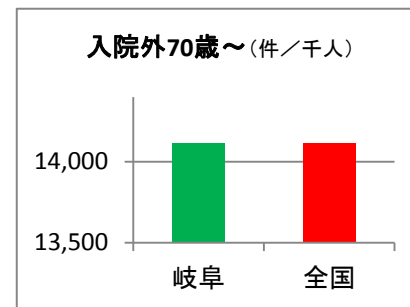
入院外

10歳～19歳



入院外

70歳～



データ:協会けんぽ・統計システムより算定ベースで集計

○0～9歳では、「受診率」、「1件あたり日数」から、『医療機関に雇う人が多く、通院回数も多く』なっております。
 ○10～19歳では、「受診率」、「1件あたり日数」、「1日あたり医療費」のすべてにおいて、全国平均を大きく上回っています。
 ○70歳以上では、「1件あたり日数」、「1日あたり医療費」から、『通院回数が多く、1回の診療費も高く』なっております。

2. 医療費の傷病別占率 ～どんな傷病が多いのか～

○「どんな傷病にどのくらいの人が罹っているのか」といった観点から分析します。

○全年齢における医療費に占める割合の高い傷病名は次のとおりです。（「社会保険表章用121項目疾病分類コード」に分類される傷病名。）

入院
(全年齢)

岐阜支部		
傷病名	生活習慣病	割合
1 他の悪性新生物(※1)	○	6.1%
2 虚血性心疾患	○	5.0%
3 他の消化器系の疾患(※2)		4.5%
4 良性新生物		4.1%
5 他の妊娠、分娩及び産じょく(※3)		4.0%
6 他の心疾患(※4)	○	3.8%
7 他の神経系の疾患(※5)		3.0%
8 骨折		2.9%
9 統合失調症及び妄想性障害		2.8%
10 肺の悪性新生物	○	2.6%

入院外
(全年齢)

傷病名	生活習慣病	割合
1 高血圧性疾患	○	10.1%
2 糖尿病	○	5.7%
3 他の内分泌、栄養及び代謝疾患(※7)	○	4.9%
4 腎不全		3.8%
5 他の急性上気道感染症(※8)		3.7%
6 アレルギー性鼻炎		3.6%
7 喘息		3.4%
8 皮膚炎及び湿疹		3.4%
9 急性気管支及び細気管支炎		3.1%
10 他の消化器系の疾患(※2)		2.3%

全国

傷病名	生活習慣病	割合
1 他の悪性新生物(※1)	○	6.7%
2 他の消化器系の疾患(※2)		4.6%
3 他の妊娠、分娩及び産じょく(※3)		4.1%
4 良性新生物		3.9%
5 虚血性心疾患	○	3.9%
6 他の心疾患(※4)	○	3.4%
7 骨折		3.2%
8 他の損傷及び他の外因の影響(※6)		2.8%
9 他の神経系の疾患(※5)		2.7%
10 脳梗塞	○	2.6%

傷病名	生活習慣病	割合
1 高血圧性疾患	○	10.3%
2 糖尿病	○	6.0%
3 他の内分泌、栄養及び代謝疾患(※7)	○	4.3%
4 喘息		4.3%
5 腎不全		3.9%
6 他の急性上気道感染症(※8)		3.2%
7 皮膚炎及び湿疹		3.1%
8 アレルギー性鼻炎		2.8%
9 他の消化器系の疾患(※2)		2.4%
10 他の皮膚及び皮下組織の疾患(※9)		2.0%

データ：統計システムより算定ベースで集計 医療費には外来レセプトに突合できる調剤レセプト分を含む。

■「他の」のご説明

(※1)胃、結腸、直腸、肝、肺、乳房、子宮、悪性リンパ腫、白血病、以外の悪性新生物 (※2)う蝕、歯肉炎及び歯周疾患、その他の菌及び歯菌の支持組織の障害、胃潰瘍及び十二指腸潰瘍、胃炎及び十二指腸炎、アルコール性肝疾患、慢性肝炎(アルコール性ものを除く)、肝硬変(アルコール性ものを除く)、その他の肝疾患、胆石症及び胆のう炎、膵疾患、以外の消化器系の疾患 (※3)流産、妊娠中毒症、単胎自然分娩、以外の妊娠、分娩及び産じょく (※4)虚血性心疾患、以外の心疾患 (※5)パーキンソン病、アルツハイマー病、てんかん、脳性麻痺及び他の麻痺性症候群、自律神経系の障害、以外の神経系の疾患 (※6)骨折、頭蓋内損傷及び内臓の損傷、熱傷及び腐食、中毒、以外の損傷及び外因の影響 (※7)甲状腺障害、糖尿病、以外の内分泌、栄養及び代謝疾患 (※8)急性鼻咽喉炎[かぜ]<感冒>、急性咽喉炎及び急性扁桃炎、以外の急性上気道感染症 (※9)皮膚及び皮下組織の感染症、皮膚炎及び湿疹、以外の皮膚及び皮下組織の疾患 (※10)急性鼻咽喉炎[かぜ]<感冒>、急性咽喉炎及び急性扁桃炎、その他の急性上気道感染症、肺炎、急性気管支炎及び急性細気管支炎、アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎、急性又は慢性と明示されない気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、喘息、以外の呼吸器系の疾患

○上位の傷病は、年齢階級によって違いがあります。
 ○医療費が高くなる60歳以上における上位の傷病は次のとおりです。

岐阜支部

入院

60歳～
69歳

傷病名	生活習慣病	割合
1 虚血性心疾患	○	9.2%
2 他の悪性新生物(※1)	○	8.4%
3 他の心疾患(※4)	○	5.6%
4 肺の悪性新生物	○	4.5%
5 他の消化器系の疾患(※2)		3.9%
6 脳梗塞	○	3.7%
7 胃の悪性新生物	○	3.7%

入院外

60歳～
69歳

傷病名	生活習慣病	割合
1 高血圧性疾患	○	20.0%
2 糖尿病	○	10.5%
3 他の内分泌、栄養及び代謝疾患(※7)	○	6.1%
4 腎不全		5.8%
5 虚血性心疾患	○	2.9%
6 他の悪性新生物(※1)	○	2.5%
7 炎症性多発性関節障害		2.4%

入院

70歳～

傷病名	生活習慣病	割合
1 虚血性心疾患	○	7.4%
2 他の悪性新生物(※1)	○	6.7%
3 脳梗塞	○	6.7%
4 他の心疾患(※4)	○	5.4%
5 骨折		4.4%
6 肺の悪性新生物	○	3.9%
7 脳内出血	○	3.8%

入院外

70歳～

傷病名	生活習慣病	割合
1 高血圧性疾患	○	20.8%
2 糖尿病	○	9.6%
3 他の内分泌、栄養及び代謝疾患(※7)	○	5.3%
4 腎不全		5.1%
5 虚血性心疾患	○	3.3%
6 他の悪性新生物(※1)	○	3.1%
7 脊椎障害(脊椎症を含む)		3.0%

全国

傷病名	生活習慣病	割合
1 他の悪性新生物(※1)	○	10.3%
2 虚血性心疾患	○	6.8%
3 肺の悪性新生物	○	4.9%
4 脳梗塞	○	4.4%
5 他の心疾患(※4)	○	4.4%
6 他の消化器系の疾患(※2)		4.0%
7 胃の悪性新生物	○	3.3%

傷病名	生活習慣病	割合
1 高血圧性疾患	○	19.5%
2 糖尿病	○	10.6%
3 腎不全		5.8%
4 他の内分泌、栄養及び代謝疾患(※7)	○	5.5%
5 他の悪性新生物(※1)	○	2.6%
6 虚血性心疾患	○	2.3%
7 炎症性多発性関節障害		2.1%

傷病名	生活習慣病	割合
1 他の悪性新生物(※1)	○	8.4%
2 虚血性心疾患	○	6.2%
3 脳梗塞	○	6.0%
4 他の心疾患(※4)	○	4.9%
5 骨折		4.4%
6 肺の悪性新生物	○	3.9%
7 関節症		3.7%

傷病名	生活習慣病	割合
1 高血圧性疾患	○	20.1%
2 糖尿病	○	10.1%
3 他の内分泌、栄養及び代謝疾患(※7)	○	4.8%
4 腎不全		4.4%
5 脊椎障害(脊椎症を含む)		3.0%
6 他の悪性新生物(※1)	○	3.0%
7 虚血性心疾患	○	2.7%

○このほかに、「年齢階級別・1人あたり医療費」で、岐阜支部が全国平均を大きく上回った年齢階級(入院外)が2つありました。
○これらの年齢階級における上位の傷病は次のとおりです。

岐阜支部

全国

入院外

0歳～
9歳

	傷病名	生活習慣病	割合
1	他の急性上気道感染症(※8)		13.0%
2	喘息		11.9%
3	急性気管支及び細気管支炎		11.0%
4	皮膚炎及び湿疹		7.8%
5	アレルギー性鼻炎		7.0%
6	急性咽頭及び扁桃炎		4.6%
7	中耳炎		3.5%

	傷病名	生活習慣病	割合
1	喘息		16.0%
2	他の急性上気道感染症(※8)		11.7%
3	急性気管支及び細気管支炎		7.5%
4	皮膚炎及び湿疹		7.3%
5	アレルギー性鼻炎		5.4%
6	急性咽頭及び扁桃炎		4.6%
7	他の呼吸器系の疾患(※10)		3.6%

入院外

10歳～
19歳

	傷病名	生活習慣病	割合
1	アレルギー性鼻炎		10.0%
2	他の内分泌、栄養及び代謝疾患(※7)	○	9.6%
3	他の損傷及び他の外因の影響(※6)		6.7%
4	他の急性上気道感染症(※8)		5.8%
5	皮膚炎及び湿疹		5.6%
6	喘息		5.3%
7	急性気管支及び細気管支炎		4.9%

	傷病名	生活習慣病	割合
1	アレルギー性鼻炎		7.8%
2	他の損傷及び他の外因の影響(※6)		7.3%
3	他の内分泌、栄養及び代謝疾患(※7)	○	7.1%
4	喘息		7.0%
5	他の急性上気道感染症(※8)		5.4%
6	皮膚炎及び湿疹		5.3%
7	他の呼吸器系の疾患(※10)		4.5%

データ:統計システムより算定ベースで集計

○順位は若干異なりますが、岐阜支部、全国ともほぼ同じ傷病が上位を占めています。

○「60歳以上」の年齢階級(60～69歳、70歳～)では、いわゆる生活習慣病といわれる傷病が上位を占めています。

入院外では、岐阜支部・全国ともに、「高血圧性疾患」が20%程度を占めており、高血圧が日本人にたいへん多い病気であることがここでも分かります。

○「0～9歳」(入院外)では、全国的にみると「喘息」がトップですが、岐阜支部の場合は、喘息よりも、「急性鼻咽頭炎[かぜ]、急性咽頭炎及び急性扁桃炎以外の急性上気道感染症」で医療費を使う割合の方が多くなっています。

○「10～19歳」(入院外)では、岐阜支部・全国とも「アレルギー性鼻炎」が第1位となっております。

3. 医療供給体制 ～病院数、病床数などの比較～

○一般的に、病院や医師などが多く、受診率が高くなり、結果として医療費を押し上げる要因になるといわれています。
○岐阜県や各都道府県の医療供給体制は次のとおりです。

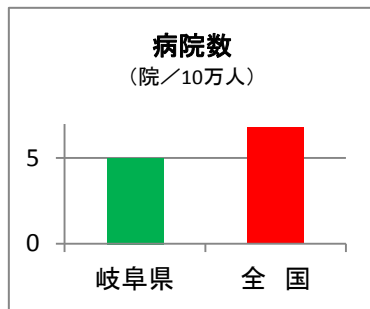
◎ 人口10万対 病院数・一般診療所数・病床数・医師数

(※1) 病院: ベット数が20床以上 診療所: ベット数が20床未満、または、無床

(※2) 医師数: 医療施設に従事している医師の数

① 病院数

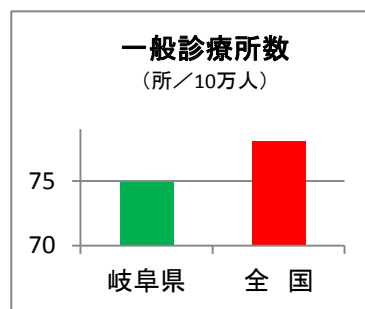
	都道府県	院/10万人
1	高知県	17.9
2	鹿児島県	15.6
3	徳島県	14.9
4	大分県	13.3
5	佐賀県	12.9
40	岐阜県	5.0
	全国	6.8



平成22年10月1日現在
データ: 厚生労働省 医療施設調査

② 一般診療所数

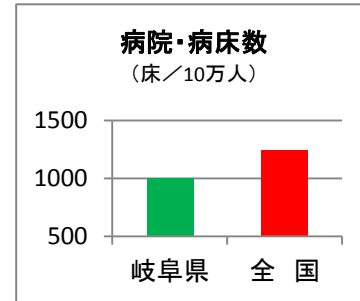
	都道府県	所/10万人
1	和歌山県	106.1
2	島根県	104.0
3	徳島県	101.3
4	長崎県	99.5
5	東京都	96.4
28	岐阜県	74.9
	全国	78.0



平成22年10月1日現在
データ: 厚生労働省 医療施設調査

③ 病院・病床数

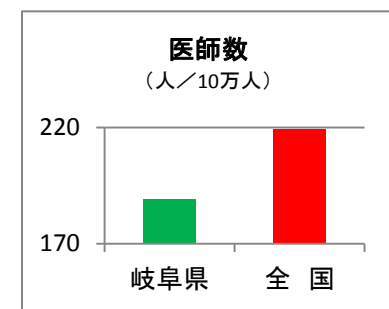
	都道府県	床/10万人
1	高知県	2479.0
2	鹿児島県	2055.6
3	熊本県	1974.9
4	徳島県	1936.0
5	長崎県	1925.6
42	岐阜県	1001.3
	全国	1244.3



平成22年10月1日現在
データ: 厚生労働省 医療施設調査

④ 医師数

	都道府県	人/10万人
1	京都府	286.2
2	東京都	285.4
3	徳島県	283.0
4	福岡県	274.2
5	高知県	274.1
38	岐阜県	189.0
	全国	219.0



平成22年12月31日現在
データ: 厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査

○岐阜県の場合、病院数、病院・病床数、医師数が全国平均を大きく下回っており、これが入院医療費を抑えるひとつの要因になっていると考えられます。

Ⅲ. まとめ

「Ⅱ分析」から分かった医療費の特徴を踏まえて医療費抑制のために「岐阜支部でできること」を取りまとめます。

岐阜支部の特徴

- ☑ 医療費が高くなる60歳以上の方の医療費を傷病別にみると、高血圧などの「生活習慣病」が多い。
- 全国的にも同様の傾向です。



医療費抑制のために 岐阜支部でできること

- ☑ 当面の医療費抑制対策として、健診により、生活習慣病を早期に発見し、早期に治療等に着手することが重症化を防ぐことに繋がるため、引き続き、健診の受診勧奨に注力していきます。
- また、安価な「ジェネリック医薬品」の周知を図ってまいります。
- ☑ 若年時からの日常生活で生活習慣病のリスクを減らすことが最重要であり、生活習慣病になりにくい食生活や運動習慣をお伝えしていきます。

- ☑ 入院・入院外別にみると、入院は全国平均より低く、入院外は全国平均より高い。
- ☑ 入院外医療費を年齢階級別にみると、「0～9歳」、「10～19歳」、「70歳～」の3階級が全国平均を大きく上回っている。
- ☑ とくに「10～19歳」の医療費は、全国ワースト1である。



- ☑ 岐阜県は、通院においても、大半の市町村が15歳到達最初の年度末(中学3年)まで全額補助を行うなど、他県と比べても医療費助成制度が充実しています。一方で、この充実度が「10～19歳」の入院外医療費の増大につながることも考えられます。
- ☑ 患者側からみた医療費は「無料」ですが、実際には、「7割は健康保険が負担していること」、さらには「健康保険で負担した分は保険料としてご負担いただくことになる」仕組みをご理解いただき、医療費への意識を高めていただくための啓発活動を考えていきます。